学校経営方針

1　学校目標

『自ら進んで学び、心豊かでたくましく生きる常二子の育成』

2　めざす子ども像

〇よく考え、進んで学ぶ子ども
〇仲よく助け合う子ども
〇安全に気をつけ、健康な体をつくる子ども

3　めざす学校像

〇安心・安全で多様性を許容し、よさを発揮できる学校
〇清潔で整理・整頓された美しい学校
〇子どもが知的好奇心を働かせて学びと向き合う授業がある学校
〇職員が知恵と力を集結し、子どもの成長に必要な環境を整え、資質能力を高める学校
〇保護者、地域と信頼関係を築き、連携し、地域とともに歩む学校

4　目指す教職員像

〇子どもの考えや意見を大切にし、子どもとともに学び、行動し成長する教職員
〇教育公務員として研修と修養に努め、学び続ける教職員
〇学習の学び方や生活習慣を身につけさせ、求められる資質能力を育む教職員
〇保護者・地域と協働し、子どもの健全育成に励む教職員
〇子ども・保護者・地域・同僚から信頼させる教職員

5　経営の重点

一人一人の児童を大切にし、知徳体バランスのとれた力を育成する。
未来を拓く「新しい未知の物事に好んで取り組む　探究心　向上心　感性」

〇徹底した児童理解「希望を育む　心の安定　学力へのプラス作用」
〇身につけさせる資質・能力の明確化
〇職員の指導力向上
〇共育（チームとしての意識の醸成および保護者・地域との協働）

6　経営の力点

(1)『よく考え進んで学ぶ子ども』　確かな学力

生徒指導の機能を生かした授業作りを中心に取り組む　適切な評価・評定

①知識・技能

・基礎基本の定着　・授業と家庭教育のリンク　・少人数指導・TT 指導など形態の工夫

②思考力、判断力、表現力

・読書活動の推進。・音読、スピーチ、暗唱、話し合い活動等の充実　・ICTの活用

・言語活動を位置付けた授業づくりを行っている。・発表のしかたや話し方の指導の工夫。

③学びに向かう力、人間性

・PDCA サイクルを活用した授業作り

・一人ひとりのよい点や可能性を伸ばす評価

・進歩の状況がわかる指導　・WAKUWAKU 塾による発展的学習と補充的学習に係る指導支援

・体験的学習活動の充実　　・きめ細かな児童観察

（2）『仲よく助け合う子ども』 豊かな心

①豊かな人間関係構築

・基本的生活習慣の確立　・異年齢集団との交流　・いじめを許さない集団作り

・Q-U 調査を分析し活用。・児童理解ときめ細かな児童観察　・幼保小　小中　連携　・多様性の理解

②道徳教育の推進

・道徳授業の工夫と公開　・励まし伸ばす評価

③特別支援教育の構築

・交流活動の推進、・合理的配慮に務め、個別の指導計画を作成・ユニバーサルデザイン

④相談体制の充実

・相談体制の充実（受容・共感・傾聴によるスキル向上　SC, SSWとの連携・協働）

（3）『安全に気をつけ、健康な体をつくる子ども』健康・安全

①健康増進と保健指導

・措置お遊びを推奨し、雨天時には相応した遊びや読書を行い、心身ともに健康の推進

・部活動の設置　・健康診断と積極的な治療勧告　・学校医との連携協働

②食育

・組織的アレルギー対応の向上　　・給食を通した食に関する指導　　・早寝　早起き　朝ご飯の推奨

③安全教育と安全管理

・けがをなくす目（危険予知トレーニングを含む）　・危機管理の徹底と訓練の実施

・保護者地域と連携しての見守り活動　　・登下校時の安全

（4）保護者・地域と共に歩む（共育）

・PTA や各団体との連携強化　　・保護者、地域連携による見守り活動

・情報発信（学校便り、ホームページの活用）　・危機対応の連携（連絡メール等での発止を含む）

・地域連携強化（学校公開・学校評価の活用）　・相談体制の充実（SC、SSWとの連携・協働）